

ひとはく通信

ハーモニー

106

Sep. 2019

ひよびづのレッドリスト展

哺乳類・爬虫類・両生類・魚類

ニッポンバラタナゴ ～兵庫県レッドリストAランク～

谷本卓弥氏提供

—記憶や思い出は収蔵できるか?—

「人が自然とどのように関わってきたか」を調べようとする時、関係者に話を聞きながらメモを取ったり、録音をしたり、場合によっては映像として撮影するなどして記録に残すことがあります。このようなインタビュー記録は「オーラルヒストリー」として歴史学ほか様々な分野で収集され、欧米を中心とする海外の博物館や図書館などで一般に公開されている例もあります。一方で、研究者の私蔵となっているものも多いのが現状です。

2015年、淡路島でどんな木の実をどのように利用してきたかを調べるため、現地の方40名にインタビューをしました。

「野いちごを、長い草にたくさん通して持ち歩いた」、「ヤマモモ一升を、米一升と交換した」、「ばべ(ウバメガシ)の実を拾い集めて、粉にして兵隊さんに送った」など、木の実そのものについてだけでなく、関連する文化や時代の息吹が感じられるたくさんの物語に出会いました。

そのような、人により語られた言葉を収集し、収蔵することができれば、「もの」だけでは知り得ない様々な人と自然の情報を、未来に残すことができるかもしれません。

奥井 かおり(自然・環境マネジメント研究部)



写真1
イヌビワ
Ficus erecta var. *erecta*

淡路島では、「ちちんぼ」「ちちもも」「いたび」などと呼ばれている。木の実は1種類でも、人によって語られる内容には多様性がある。



写真2
実物を前に話を聞く様子

トピックス

新入館員 自己紹介



指導主事
安田 英生

今年の4月から生涯学習課で指導主事として勤務しています。

博物館の魅力をたくさんの方々に知っていただき、皆様の知的好奇心を満たしていきたいと思っています。



指導主事
坂井 貴行

県立高校から転任しました。全職員が一丸となって仕事をしている「ひとはく」で働くことができ、とても嬉しく思っています。

広報や学校連携などを中心に頑張ります！



総務課
中尾 圭志

今年度から総務課で勤務しています。「ひとはく」が行う様々な活動を支えられるよう、精一杯努力していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



教育事務推進専門員
岩崎 晃一

「ひとはく」では小さいお子さまからシニアの方まで、楽しく学んでいただけるイベントやセミナーを数多く開催しています。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。



社会教育推進専門員
岡田 出

この4月に豊岡から赴任して来ました。

かつて理科担当として生徒に接していたことを思い出しながら、充実した日々を過ごしています。

よろしくお願いいたします。



総務課
喜多 麻衣

博物館での勤務は初めてですが、これまでの経験を活かし、「ひとはく」がより多くの方に愛される博物館になるよう頑張ります。

どうぞよろしくお願いいたします。